

外国人しか知らない

日本の観光名所

インバウンド観光の実像を究明した  
ビジネス論  
にして日本論！

山本七平賞受賞「新・観光立国論」著者

デービッド・アトキンソン

「日本随一の成長産業・  
観光業の現在地  
がよく分かる」

駐日ジョージア大使

ティムラズ・レジャバ

氏推薦！  
両氏

「出てほしくなかった本がついに出てしまった。しかし、

これは絶対に必要な本だ

○私もこの本を手掛かりにまだ  
行けていない日本の各地を急

いで回らなければならない衝動が走った」

東大カルペ・デイエム



外国人しか知らない日本の観光名所

東大カルペ・ディエム

星海社

302





はじめに

「北海道の青い池は世界的に有名だから、行ったことあるよね？」

「なんで日本人なのに徳島県のかかしの里を知らないの？」

「日本人なら錦鯉にしきこいがどこで買えるかわかるよね？」

外国の方と話していると時々このようなことを言われ、われわれ日本人が知らない、外国人しか知らないもう一つの日本があることに気づかされます。長く住んでいるのに、あるいは住んでいるからこそわれわれ日本人には見えない日本の地域や文化が数多くあるのです。そういった日本の埋もれた魅力が現在、年間2500万人を超す外国人訪日旅行者（インバウンド）によって次々と発掘されています。

アメリカを代表する新聞『ニューヨーク・タイムズ』では2023年、「今年は盛岡が熱い」という記事が掲載されました。それを見たたくさんの外国人が盛岡を訪れたところ、

盛岡の人が「えっ、なんでこんなところに外国人が!？」と驚いたといいます。盛岡の人より外国の人の方が、盛岡の魅力に気づいているのです。同じような現象は今、日本のいろいろな地域で起こっています。

そういった「外国人しか知らない日本」を、この本で日本のみなさんに紹介したいと思います。

観光は、「光を観る」と書きます。そして「光」は、自分で光っているつもりがなくても、相手が見出す場合だってあるのです。その地域に住んでいる人たちにとっては、自分の地域の面白さは意外とわからないものです。

昔、筆者が長崎県の波佐見町はさみちょうという焼物で有名な地域の中学校に行ったとき、「この地域には何も無いよ」と言う地元の人に、「波佐見焼があるじゃないか」と反論したら、ポカンとした表情を浮かべられたことがあります。波佐見町ではその焼物が当たり前すぎて、他の地域にはない良さだということが意識されていなかったのです。

このように、私たち日本人からすれば当たり前のこと、外国人から見ればユニークに映ることがあります。逆にいえば、外国人が面白く感じることを、私たちはまだ発見でき

ていないかもしれません。

例えば、徳島の「かかしの里」はあるドイツ人の留学生が「かわいい人形がたくさんいる村がある」と動画をアップロードして、一躍人気の観光名所になりました。

ドイツには昔話のような風景で有名なメルヘン街道があります。人形などに造詣が深いドイツ人の感性で徳島のかかしを見たからこそ、「かわいい」と思ったのでしょうか。そのドイツ人が発見するまで、かかしの里のかかしを「かわいい」という感性で捉え、価値あるものだと考えて発信する人はいなかったのです。このように、たとえ知っているものであっても、外からの一言によって見方が一転することがあるのです。

日本人が日本の魅力を実は知らない、知っているものだけど実は気づいていない魅力がある——これは非常にもったいないことです。

そこで本書では全国各地の「外国人しか知らない日本」を調査し、なぜそれが世界で知られるようになったのか、どのような外国人からの人気を集めているのかを解説しました。「この観光地は有名だから多くの日本人が知っているよ」というスポットでも、あまり日本人が気づいていない角度の魅力がある、外国でユニークな注目のされ方をしているものに関して取り上げていきます。

日本には、一冊の本では紹介しきれないほどたくさんの魅力が眠っています。この本を読んでくださったみなさんが、ご紹介した観光名所を実際に訪れ、さらには地元の魅力を再発見するヒントが見つければと思っております。

目次

はじめに 3

第1章 北海道・東北の知られざる観光名所

15

北海道 ニセコ 最高の雪質で世界のリゾートに 18

北海道 然別湖コタン しかりべつこ 冬にだけ現れる氷上の村 21

北海道 白金青い池 Macの壁紙で一躍有名に 24

北海道 札幌もいわ山ロープウェイ さっぽろ フィリピン映画の舞台になった日本の夜景 27

青森 ねぶたの家ワ・ラッセ 一年中ねぶた祭を体験可能 30

## 第2章

# 関東地方の知られざる観光名所

53

岩手 **NAGASAWA COFFEE** 世界に知られた盛岡のコーヒー 33

秋田 **田沢湖・角館** 日本らしさがコンパクトに集まる地域 36

宮城 **瑞鳳殿** 絢爛な神道建築・霊屋 39

山形 **蔵王・スノーモンスター** 日本とドイツにしかない自然現象 42

福島 **飯坂八幡神社・飯坂温泉** 祭り体験の発信で国際観光地に 45

章間コラム 48

東京 **豪徳寺** 外国人を魅了する招き猫 56

茨城 **神磯の鳥居** フォトジェニックな鳥居と朝日 59

栃木 **あしかがフラワーパーク** デイズニー、USJと並ぶ日本三大パーク 62

### 第3章

## 中部地方の知られざる観光名所

83

埼玉 長瀬 いち早くインバウンド対応して世界的に人気に 65

群馬 佛光山法水寺 群馬でできる台湾体験 68

群馬 宝川温泉 外国人に人気の日本の温泉 71

千葉 ふなばしアンテルセン公園 子供も大人も楽しめる自然スポット 74

神奈川 猿島 歴史も自然も楽しめる無人島 77

章間コラム

80

愛知 明治村 外国人に人気の明治建築テーマパーク 86

新潟 佐渡島 外国人が溶け込んだ離島 89

福井 水島 北陸のハワイと称される無人島 92

#### 第4章

## 近畿地方の知られざる観光名所

117

石川 金沢21世紀美術館 SNS時代の新しい美術館 95

富山 砺波チューリップ公園 家族で楽しめるチューリップの名所 98

山梨 甲州ワイン 世界で評価される日本ワインの産地 101

長野 河童橋 日本らしさあふれる山の景観 104

岐阜 飛騨高山 イスラエル人が多く訪れる「小京都」 107

静岡 久能山東照宮<sup>くのうざんとうしょうくう</sup> 富士山とお茶だけでない静岡の魅力 110

章間コラム 113

三重 伊賀忍者の里 世界に知られる忍者のふるさと 120

兵庫 ジャズストリート 日本ジャズ発祥の地にして中心地 123

第5章

中国・四国の知られざる観光名所

151

兵庫 ニジゲンノモリ クールジャパンを体感できるテーマパーク 126

京都 仙洞御所 天皇が宿泊する現役の建物を見学 129

大阪 山崎蒸溜所 日本ウイスキーの聖地 132

和歌山 那智の滝 修験道の聖地から外国人に人気の観光地へ 135

滋賀 MIHOMUSEUM 世界レベルの美術館建築とコレクション 138

奈良 金魚ミュージアム 新しい金魚像を世界に発信 141

大阪 舞洲ゴミ処理場 世界で最も美しいゴミ焼却場 144

章間コラム 147

岡山 犬島 島全体がアートの小島 154

# 九州・沖縄の知られざる観光名所

- 岡山 真鍋島 ヨーロッパで知名度抜群の猫の島 157
- 広島 大久野島 地図から消された「うさぎの島」 160
- 鳥取 三徳山三佛寺投入堂 日本より世界で有名な「最も危険な国宝」 163
- 島根 石見銀山 ありのままの魅力で世界遺産へ 166
- 山口 瑠璃光寺五重塔 「西の京都」一番の名所 169
- 徳島 かかしの里 人間よりかかしが多い村 172
- 香川 金刀比羅宮 外国人観光客の少ない穴場の古刹 175
- 高知 モネの庭 フランスと高知にしかない「睡蓮」の世界 178
- 愛媛 臥龍山荘 京都でないからこそ完成した最高の茶室 181

福岡	河内藤園	日本らしさを感じさせる藤の花	190
福岡	南蔵院の釈迦涅槃像	宝くじを当てた世界最大級の仏像	193
熊本	山鹿灯籠まつり	日本より世界で有名な夏祭り	195
佐賀	有田	陶磁器の町から爆買いの町へ	198
佐賀	祐徳稲荷神社	タイで有名な日本の神社	201
長崎	軍艦島	栄枯盛衰の歴史を語る世界遺産	203
鹿児島	桜島	火山と人の共生に世界が注目	206
大分	金鱗湖	温泉地ならではの絶景の湖	209
宮崎	高千穂峡	日本神話で世界にアピール	211
沖縄	水納島	人口50人あまりの島に年間6万人を呼ぶ虹のような海	214

章間コラム 217

おわりに 220

執筆協力者一覧 222



第1章

北海道・東北  
の

知られざる  
観光名所

北海道・東北地方といって、みなさんの頭の中に浮かぶイメージは真っ白な雪景色でしょうか。それとも数々の歴史あるお祭りでしょうか。

北海道は「さっぽろ雪まつり」に代表されるように、雪やウィンタースポーツが大きな観光資源です。それは外国人にとっても同じで、特に雪が降らない国から訪れる人、ウィンタースポーツをしたことがない人から大人気で、雪でできた家の中で一日を過ごしたり、雪の結晶が織りなす幻想的な風景を楽しんだり、雪国ならではの経験ができることでしょう。

しかし、北海道の魅力が発揮されるのは冬だけではありません。「白金しろがね青い池」は青い水面が自然に映える様子がフォトジェニックだと話題になり、一躍世界的な景勝となりました。北海道はその広大な土地に、雄大な自然という観光資源を持っているのです。

東北地方も北海道と同じく雪深い場所が多く、四季折々の景色が見られることから自然を楽しみにくる旅行者も多いです。加えて、東京から簡単にアクセスできる東北地方は日本観光の穴場として外国人から人気を集めています。確かに、東北には温泉や食文化など魅力がたくさん詰まっていますよね。その中でもとりわけ話題なのは東北の伝統文化です。

例えば、東北三大祭りにも数えられる「青森ねぶた祭」。夏に行われるねぶた祭はもちろん大人気ですが、行くタイミングをお祭りと合わせられない人でも、実際に使われているねぶたを見られ、実演もある博物館があります。東北三大祭りほど大規模でなくても、外国人も神輿みこしかつ担ぎに参加できるとして注目を集めているお祭りもあります。

この章では、北海道・東北エリアだからこその雪にちなんだ観光地はもちろん、このエリアならではの歴史や文化に触れながら、外国人から見た北海道・東北エリアの魅力をご紹介します。

# 北海道 ニセコ

最高の雪質で世界のリゾートに

北海道「ニセコ町」。ここは人口約50000人の小さな町であるにもかかわらず、年間10万人以上の外国人観光客が訪れる、とんでもない町です。冬になると、外国人観光客がこぞってスキーをするためにニセコを訪れるのです。

ニセコ町が発表しているデータによると、2002年の段階では外国人観光客は年間1万20000人程度。ここ数年で10倍近く膨れ上がったのです。そして、内訳はオーストラリア人が1番で香港人が2番となっています。香港人は日本を旅行先に選ぶこ



とが多いですが、オーストラリア人は日本を訪れること自体そこまで多くありません。ここにニセコ人気の謎を解く鍵があります。

なぜ、ニセコの観光客はここ数年で飛躍的に増えたのでしょうか？　そして、一体なぜオーストラリア人ははるばるニセコまでスキーをしに来るのでしょうか？

#### 人気の理由

ニセコに来ているオーストラリア人は、「ニセコは雪質が最高なんだ」と言います。軽くてふわふわしていて、「世界一軽い」「シルキーパウダー」とも評されるスキーに最適なパウダースノーがニセコには積もるのです。驚きなのは、それを見出したのが外国人観光客だったこと。北海道・ニセコ近辺に暮らしていた人にとっては、ニセコの雪は「普通の雪」でしかありませんでした。しかし、オーストラリアから来た人が「この雪は最高だ」と感じ、ニセコの良さが口コミで広がっていったのです。まさに、オーストラリア人がニセコの「光を観た」のです。

やがて、オーストラリア人を中心として続々と観光客が訪れるようになり、日本に行きやすいアジア人観光客もニセコを多く訪れるようになりました。次第にアジア人富裕層の

人気も高まり、2024年現在ではオーストラリア人に次いでニセコを訪れているのは香港人です。現在、ニセコエリアでは香港のデベロッパーがリゾートの建設を行っており、香港系の施設も目立つようになってきています。

#### 注目ポイント

現在ニセコは、「日本の中の外国」と呼ばれるほど外国人が多い町となりました。近隣住民は「あのニセコが高級リゾートになるなんて！」と驚いています。その最初のきっかけが、「口コミ」だったというのが面白いポイントです。

北海道

# 然別湖コタン

冬にだけ現れる氷上の村

北海道の鹿追町しかおいちょうに位置する「然別湖」。知名度もあまり高くなかったこの湖ですが、近年、ここで冬に開催される「然別湖コタン」の人氣が急上昇しています。コタンとはアイヌの言葉で「集落・村」を表します。然別湖は冬になると結氷しますが、その凍った湖の上に氷と雪だけでたくさんの「イグルー」（建造物）が作られ、露天風呂やバーなどを体験することができのです。冬になると、人口約50000人のこの町に、1ヶ月半だけで4万8000人もの人が訪れるのだそうです。



イグルーの中に作られたアイスバーは雪と氷だけで作られたとは思えないほど充実しており、お酒やホットドリンクなどさまざまなドリンクが楽しめます。特に氷でできたグラスに注がれるオリジナルカクテルは格別です。バーの中にはコンサートホールもあり、週末にはイベントが開かれます。お酒を飲んで一息ついたら、次は氷上の温泉や足湯に浸かりながら絶景を眺めてのんびりします。マイナス11度の極寒の中で浸かる温泉は絶品です。体の芯しんから温まった後はイグルーに泊まることもできます。ベッドでさえ氷で作られているのだから驚きです。

#### 人気の理由

この然別湖コタンは、雪が滅多に降らない南国である台湾の人からの人気が非常に高いです。人気のあまり、毎年然別湖コタン作りボランティアに多くの台湾人が参加するほどです。

なお、冬の体験プログラムで一躍有名となった然別湖ですが、夏にはムササビになって空を飛ぶなどさまざまな体験型アクティビティがあるのも然別湖の魅力の一つです。

## 注目ポイント

然別湖コタンの驚くべき点は、最初は「遊び」で始めたということ。冬季に凍ってしま  
う湖をもつたのではないと思い、湖畔こはんのホテルの従業員が協力してかまくらを作り、湖上で飲  
んだり遊んだりしたのが最初だといえます。するとすぐに話題となり、翌年にはテレビ中  
継のオフアアが来て、それを見た鹿追町が町公認のイベントにするよう提案したそうです。  
そこからだんだんと規模が大きくなり、今のような国際的イベントにまで成長しました。

# 北海道 白金青い池

Macの壁紙で一躍有名に

北海道には「青い池」と呼ばれる池があります。白金温泉の近くにある白金青い池は、元は十勝岳との防災工事で作られた人工的な池でした。堰堤えんていにたまった水が、不思議と綺麗なコバルトブルーをしていたため、いつしか「青い池」という名前がつけられたのです。

青い池が一年を通して青色をたえるのは、水源である美瑛川びえいがわの支流や近隣の名所である白ひげの



滝に含まれる硫黄などの温泉成分と、アルミニウムなどを含んだ水が混ざって形成されたコロイドの反射のためです。太陽の光と水中の粒子が衝突すると、いろいろな方向に光が反射します。池の中の粒子が通常の水分子よりも大きいので波長の短い青い光が散乱し、青く見えると言われています。池の水面に突き出るカラマツや白樺の木々とともに、四季折々の表情を見せる白金青い池は外国人を魅了してやみません。

#### 人気の理由

青い池は、夏には緑が生い茂る中に真っ青な池を、冬は一面真っ白な雪景色の中に見事なコバルトブルーの水面を見ることができます。さらに夜にはライトアップされ、昼とは違って凍てついた風景が青い蛍光灯で照らされるのです。白金青い池は北海道随一のフォトスポットであり、フォトジェニックな写真が撮れるとしてインスタグラムをはじめとするSNSで話題になっていっています。あまりに幻想的なこの風景を、おとぎ話の世界のようだと表現する人もいるほどです。

みなさんの中に「白金青い池の写真を見たことがある」という人も少なくないかもしれません。実はこの白金青い池の写真は2012年、Mac OSの公式壁紙に採用されたのです。それをきっかけに白金青い池は全世界から注目される人気の観光地となりました。

さらに先ほども紹介しましたが、白金青い池の周辺には、白ひげの滝と言われる滝があります。池の源流である美瑛川も綺麗な青色をしており、ブルーリバーと言われるほど。そんなコバルトブルーにきらめく美瑛川に約30メートルの高さから地下水が勢いよく流れ落ちる白ひげの滝は思わず息を飲むような美しさがあります。青い池は、近隣の絶景と一緒に楽しめるのもポイントです。北海道なので、冬には滝からの水しぶきや湯気が霧氷を形成し、雪と岩肌、そして川の色のコントラストがより幻想的な風景を見せてくれます。

さらに、白金温泉からその迫力を間近に感じられるのも楽しみの一つ。温泉から楽しめる大自然というのも、青い池や美瑛川、白ひげの滝が人気を集める理由でしょう。

北海道

# 札幌もいわ山 ロープウェイ

フィリピン映画の舞台になった  
日本の夜景

札幌市の中央に位置する藻岩山<sup>もいわやま</sup>。標高531メートルと、町中にあるにしてはかなり大きな山ですが、この山の頂上からは札幌市内や日本海、石狩湾<sup>いしかり</sup>を一望できる素晴らしい景色を見ることができます。そして、山の頂上へ続く道にかかっているロープウェイこそが、外国人観光客に人気の「札幌もいわ山ロープウェイ」です。



SAPPORO Mt.MOIWA ROPEWAY

山のふもとから中腹まではロープウェイか自動車道を利用してのぼり、中腹から山頂までは「もーりすカー」というケーブルカーに乗ってのぼります。もちろん、登山道も整備されているので、歩いての登山も可能です。

料金は2024年現在で、大人が往復2100円、子供が1050円。所要時間は、ロープウェイが5分程度で、ケーブルカーが20分程度。ロープウェイとケーブルカー込みの料金なので、この料金を支払えば手ぶらで登山して眺望を楽しみ、下山できます。500メートル台とはいえ、そこそこ大きな山であることを考えれば、この料金で山頂までの往復が可能なのは破格といえましょう。

#### 人気の理由

2017年の『ニューヨーク・タイムズ』でもいわ山ロープウェイが紹介され、そこから人気に火が付きました。記事内では「夜のエンターテイメントならば藻岩山の頂上から望める夜景に勝るものはない」と紹介されており、「日中もさることながら、夕方以降に見られる、何キロにもわたって続く都市の輝きは素晴らしい」と褒めたたえられています。そんな藻岩山ですが、フィリピン映画『Kita Kita』のメインの舞台となっていたことを

知っている方は少ないでしょう。実はアジア圏では今、日本を舞台とした映画が流行っており、残念ながら日本で公開されている作品は少ないものの、そうした映画の影響力には多大なるものがあります。

また、夜景はインスタグラムやユーチューブとの相性もいいので、インフルエンサーの影響力増大とともにインバウンドが激増しています。

#### 注目ポイント

藻岩山は2012年の「恋人の聖地」に認定されており、頂上展望台にある「幸せの鐘」も有名です。日本人の中にはこれを目当てに訪れる観光客も多く、「永遠に離れない」という願いが込められた「愛の鍵」がずらりと並んでいます。

青森

# ねぶたの家 ワ・ラッセ

一年中ねぶた祭を体験可能

青森の伝統文化といえば「ねぶた祭」です。ねぶた祭は東北三大祭りの一つに数えられる青森の伝統的な祭りで、「人形ねぶた」と呼ばれる山車の後に跳<sup>はね</sup>人が「ラッセラー！ ラッセラー！」という掛け声とともに街を練り歩くものですが、その祭りを実際に見たことがある人は一体どのくらいいるでしょうか？

教科書やニュースではよく見かけますが、年に一



度、6日間しか開催されないとってはなかなか足を運ぶのは難しいですよ。ところが、そのねぶた祭を一年中体験できる場所があるのです。それが「ねぶたの家ワ・ラッセ」（青森市文化観光交流施設）です。日本人で知っている人は少ないかもしれませんが、より青森に行く機会の少ない外国人に、いつでもねぶたを体験できると人気なのがこの施設です。

#### 人気の理由

ねぶたの家ワ・ラッセは2011年にできた比較的新しい施設で、一年中ねぶた祭を感じられるようになっていきます。JR青森駅のすぐそばにあるこの施設は2階がミュージアムになっており、ねぶた祭の歴史を深く学ぶことができます。そして1階にはメインの展示場があり、実際の祭り本番で使われたねぶたを間近に見ることができます。館内には三味線やねぶた囃子ばやしなど和楽器によるBGMが流れており、まるでねぶたの海を歩いているかのような体験ができます。ねぶたの作り方から過去の優秀作品まで展示してあるこの施設は、単なる博物館を超えて、まるでねぶた祭に来ているようだと好評なのです。

## 注目ポイント

竹とワイヤーで骨を組み、紙をはって作られるねぶたはその題材が中国の神話や日本の偉人に基づいていることも多いのです。そのため、素材やモチーフを学ぶため、ねぶた祭に参加する人が準備のために訪れることも少なくないようです。

また、毎日イベントを行っているのも観光客にとっては嬉しいポイントです。過去のねぶた祭の映像の上映会や体験会を毎日行っています。その中でも特に人気があるのは跳子・囃子体験で、運が良ければ小さなねぶたを作れることもあります。時期や天候を気にすることなく、いつでもねぶた祭の非日常に没入できることからワ・ラッセが支持を集めているのでしよう。

# 岩手 NAGASAWA COFFEE

世界に知られた盛岡のコーヒー

盛岡駅からバスで少し行ったところで営業している  
コーヒー店「NAGASAWA COFFEE」。  
ここでは、店主がコーヒー生豆の仕入れ、焙煎ばいせん、抽出、提供までを一貫して手がけているこだわりの  
コーヒーを楽しむことができます。店主の長澤さんは  
2019年に「コーヒーの仕事を通じて世界を変えている  
20人」としてコーヒーメディア『SPRUD  
GE』に日本人で初めて選出されるほど、コーヒー



に情熱を注いできた人物です。市場規模が決して大きいとは言えないこの盛岡の地から、全世界に認められるようなコーヒーを作り続けられる秘訣ひけつとは一体何でしょうか。

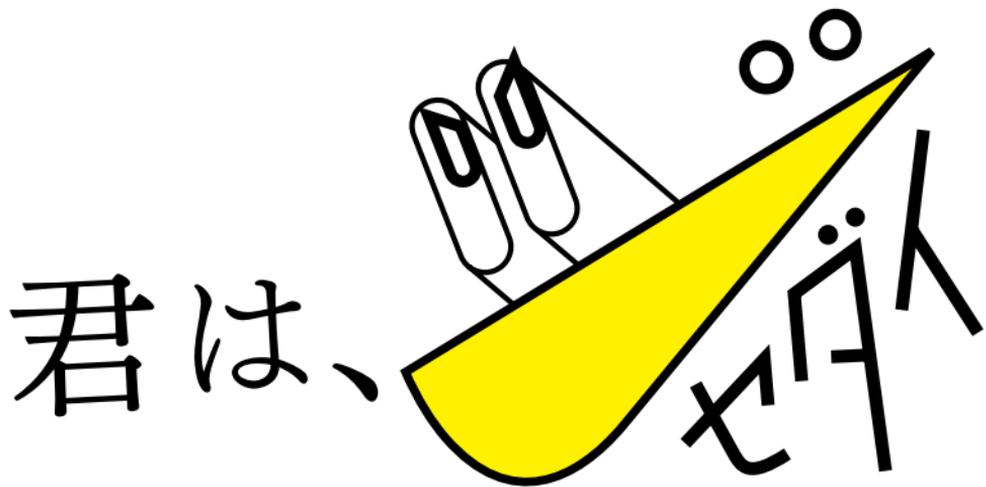
#### 人気の理由

この店が海外の人に広く認知されるようになったのは、『ニューヨーク・タイムズ』紙の「2023年に行くべき52の場所」に盛岡が取り上げられたことがきっかけでした。盛岡の魅力を語る上で、他にもいくつかのスポットが取り上げられましたが、その中でも特に熱量が込められたのがこのNAGASAWA COFFEEです。個人で輸入したドイツ製のヴィンテージ焙煎機だきょうを使うために店を改装した、というエピソードからもうかがえるように、自分の味に妥協たきょうしない姿勢が認められたのでしょう。インスタグラムで調べても、出身や国籍にかかわらずさまざまな人がNAGASAWA COFFEEのコーヒーを楽しんでいる様子がたくさん投稿されています。

#### 注目ポイント

盛岡の空気と落ち着いた空間デザインもさることながら、世界中の人々を惹きつけるの

はなんとと言ってもそのコーヒーのクオリティです。伝統的な深煎りコーヒーに縛られたり、流行にとらわれたりすることなく全ての人がコーヒーを楽しめるよう、自分の足を使って得た知識でさまざまなコーヒーを展開しています。実際に産地に足を運び、自身で仕入れているからこそ「どうしたら盛岡に馴染なじむのか」「どうしたら全ての人を幸せにできるのか」を考え抜けるのでしょうか。全ての人に合ったコーヒーを提供するため、店のオリジナリティを考慮して「スペシャルティ」と呼ばないのだといいます。コーヒーのクオリティにこだわりたいからこそ、全国展開はせず盛岡の1店舗だけの営業に留めているそうです。公式サイトから長澤さんこだわりのコーヒーを取り寄せることもできるので、気になる人はぜひ試してみてください。



君は、

ジセダイ

何と闘うか？

<https://ji-sedai.jp>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

**メインコンテンツ**  
**ジセダイイベント**

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

**ジセダイ総研**

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

**星海社新書試し読み**

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

**行動せよ!!!**